

## ★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／市民環境部東岸和田市民センターによる自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	大学・学級では、運営や学習プログラムが主体的に運営できるよう支援した。登録クラブでは、日ごろの活動の発表として、ミニフェスタの開催と、公民館クラブ活動をより地域の人に身近に感じてもらう、会員の増加及び団体活動の活性化のため、体験ウイークを開催した。定期講座は、公民館に親しんでもらえるような内容で3講座開催した。	4：大いに近づいた	継続	850	10,650	11,500	学級参加者の減少。	複合施設の利点を生かして、他機能施設に利用にも案内する。	
2	東岸和田市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	東岸和田市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	設備や備品が安全に使用できるよう、管理、改修に努めた。	4：大いに近づいた	継続	23,459	3,719	27,178	設備等の劣化。	今後も継続的に日常点検を実施する。	
3	東岸和田市民センター管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	変則的な勤務のため、必要な職員に必要な情報が届くようお互い意識するようにしている。	2：一定近づいた	継続	-	7,879	7,879	安定的なシフト管理。	引き続きシフト管理を行う。	
4	公有財産管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	公有財産を有効活用するため、普通財産を適正に管理する。	普通財産として貸付により管理している。	4：大いに近づいた	継続	2,843	358	3,201	引き続き貸付により管理する。	引き続き貸付により管理する。	
5	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	関係課と連携し、取扱い事務を適正に実施した。	4：大いに近づいた	継続	-	10,977	10,977	取扱い業務以外の相談業務への対応。	関係各課との効率的な連携。	